



1917年製 フォード モデルT クーペレット



製造情報

製造商	フォードモーターカンパニー
組付工場	ミシガン州ハイランドパークのフォードハイランドパーク工場(当時の子会社工場)
モデル生産量	7,343
総生産量	735,020 (全車種)
馬力	20
重量	1580 (lbs) 720 (Kg)
当時売価	\$505 (USD)

イノベーション(ポイントのみ)

パッド入りの屋根は1917年製クーペレット特有のもの
座席下のガソリンタンクは、他のどんなモデルTとも異なり、円形でドーム型の特別なカバーが付いている

前方座席と後部座席のサイドウィンドウ間にある、取り外し可能な窓のセンターポストは座席後ろの特別なコンパートメントに収納可能

車体は1916年製に似ているが、フェンダーは凸状になり、より湾曲された

ラジエーター・シエルが、初めて通年で黒色に塗られたーそれまでのシエルは真ちゅうで、色は塗装されていなかった

Piquette Asset: coupeletjapanese

モデルTの生産中、フォード クーペおよびクーペレットは幾度となく登場した。フォードが当初売り出したのはクローズドボディ(ハードトップ)の二人乗りクーペで、1909年から1912年まで提供した。この間に作られたのは、たったの300台程度だった。クーペレットが初めて登場したのは1915年で、オープンカーにもなるほろ屋根が付いていた。1917年に作られたクーペレットスタイルの車体には実は3種類あり、この型はハードトップにサイドウィンドウが4つあり、それらはストラップで適当な位置に引き上げるものであった。ここでは、比較しやすいように運転席側の窓を上げ、助手席側を下げていますので注目してもらいたい。助手席側サイドウィンドウのセンターサポートはシート後ろのコンパートメントに収納でき、運転席側のセンターサポートも同様に収納できた。

匿名での貸し出し

この車は、テネシー州アプトン在住のデービッド・シマリング、カレン・シマリング夫妻によって復元された。夫妻は1985年にこの車を購入して完全な修復を行い、1988年よりモデルT関係のツアーやイベントの多くに出されてきた。また、MTFCI(モデルT・フォード・クラブ・インターナショナル)のモデルT・タイムス、1988年3月/4月号の表紙を飾った。